



一月八日、日本基督教団甲東教会において、第七回韓日信徒交流大会が、「主は一つ、信仰は一つ」との主題、「隣り人はだれでしょう、みんな共に生きようよ」の副題をもって主の恵みの中で執り行われた。これは、毎年一月の成人の日、日本基督教団兵庫教区と在日大韓基督教会西部地方会とが両教団の宣教協約に基づき、教区と地方会レベルでその協力を深めるために行われて来て、今年で十七年になる。

まず、開会礼拝を厳粛な雰囲気の中で、加藤教派・団体の代表者、韓国NCC人権委員会と韓国教会在日同胞人権宣教協議会からの代表も加え四十人が参加した。在日大韓基督教会からは姜栄一総幹事をはじめ、鄭相熙牧師(関東地方会、韓聖牧師(関東外キ連)、李根秀牧師(神奈川外キ連)、李清一牧師(関西外キ連)、金成元氏(関西外キ連)、朱文洪牧師(九州・山口外キ連)が参加。

一日目は地元・神奈川の先進的な取り組みを、山田貴夫氏(川崎市職員)と竹川真理子氏(信愛塾)から聞くことができた。二日目は金性済牧師(川崎)から「神のゲール・アブラハム」とイサク/共生社会構築に生きる神の「エージェント」と題して、感銘深い聖書研究がなされた。そのあと、①「外国人住民基本法」制定運動、②日本・在日・韓国教会の共同の取り組みについて発題を受けて、今年度および長期的な活動方針について協議を重ねた。そして三日目の最後に、「前に置かれている参加の道」(ヘブライ12:1-3)と題して、麦仁道牧師から「在日最後の説教」をして

西部地方会で韓・日信徒交流大会 地域レベルの宣教協力として17回目の開催

氏(神戸東部教会)の司会によって始められ、一同が讃頌歌二十一番を讃美し、主の祈りを唱えた。また、新約聖書のヨハネの福音書第二章十一節が韓国語と日本語で朗読され、甲東教会聖歌隊による「感謝して新しい歌で讃美せよ」という曲の合唱があった。その後、日本基督教団兵庫教区と在日大韓基督教会西部地方会とが両教団の宣教協約に基づき、教区と地方会レベルでその協力を深めるために行われて来て、今年で十七年になる。

まず、開会礼拝を厳粛な雰囲気の中で、加藤教派・団体の代表者、韓国NCC人権委員会と韓国教会在日同胞人権宣教協議会からの代表も加え四十人が参加した。在日大韓基督教会からは姜栄一総幹事をはじめ、鄭相熙牧師(関東地方会、韓聖牧師(関東外キ連)、李根秀牧師(神奈川外キ連)、李清一牧師(関西外キ連)、金成元氏(関西外キ連)、朱文洪牧師(九州・山口外キ連)が参加。

一日目は地元・神奈川の先進的な取り組みを、山田貴夫氏(川崎市職員)と竹川真理子氏(信愛塾)から聞くことができた。二日目は金性済牧師(川崎)から「神のゲール・アブラハム」とイサク/共生社会構築に生きる神の「エージェント」と題して、感銘深い聖書研究がなされた。そのあと、①「外国人住民基本法」制定運動、②日本・在日・韓国教会の共同の取り組みについて発題を受けて、今年度および長期的な活動方針について協議を重ねた。そして三日目の最後に、「前に置かれている参加の道」(ヘブライ12:1-3)と題して、麦仁道牧師から「在日最後の説教」をして

去る一月七日、八日、西南地方会恒例の正初査経会及び都府県各折尾教会において地方会の各教会から、約三十名が参加して行われた。査経会の第一日目は、講師として西南KCC総幹事・麦仁道牧師を迎え、「忍耐の十字架をこえて」という主題で在日同胞宣教四十年の自らの歴史を振り返りつつ後進にその使命を託すチャレンジの言葉が与えられた。

第二日目は、講師として宮崎伝道所・鄭永吉牧師を迎え、「成熟したキリスト者」という主題でユーモアたっぷりに信仰成長の秘訣について語っていただいた。その後の都府県各折尾教会においては、西南地方会の今年度の諸計画と、各教会の現況報告と新年度の展望を語り合った。

また、折尾教会からの豊かな食事を通じて楽しい交わりのひとときも与えられ、霊肉共に満たされた査経会であった。

外キ協全国集会が開催

「外国人住民基本法」制定に向け宣言採択



一月十一・十三日、横浜カトリックセンターで、外キ協(外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会)の第十五回全国協議会が開催された。北海道から九州までの各地外キ連の代表は姜栄一総幹事をはじめ、鄭相熙牧師(関東地方会、韓聖牧師(関東外キ連)、李根秀牧師(神奈川外キ連)、李清一牧師(関西外キ連)、金成元氏(関西外キ連)、朱文洪牧師(九州・山口外キ連)が参加。

一日目は地元・神奈川の先進的な取り組みを、山田貴夫氏(川崎市職員)と竹川真理子氏(信愛塾)から聞くことができた。二日目は金性済牧師(川崎)から「神のゲール・アブラハム」とイサク/共生社会構築に生きる神の「エージェント」と題して、感銘深い聖書研究がなされた。そのあと、①「外国人住民基本法」制定運動、②日本・在日・韓国教会の共同の取り組みについて発題を受けて、今年度および長期的な活動方針について協議を重ねた。そして三日目の最後に、「前に置かれている参加の道」(ヘブライ12:1-3)と題して、麦仁道牧師から「在日最後の説教」をして

西南地方会で正初査経会

麦仁道牧師・鄭永吉牧師を講師に招請



去る一月七日、八日、西南地方会恒例の正初査経会及び都府県各折尾教会において地方会の各教会から、約三十名が参加して行われた。査経会の第一日目は、講師として西南KCC総幹事・麦仁道牧師を迎え、「忍耐の十字架をこえて」という主題で在日同胞宣教四十年の自らの歴史を振り返りつつ後進にその使命を託すチャレンジの言葉が与えられた。

第二日目は、講師として宮崎伝道所・鄭永吉牧師を迎え、「成熟したキリスト者」という主題でユーモアたっぷりに信仰成長の秘訣について語っていただいた。その後の都府県各折尾教会においては、西南地方会の今年度の諸計画と、各教会の現況報告と新年度の展望を語り合った。

表をはじめ、加盟教派・団体の代表者、韓国NCC人権委員会と韓国教会在日同胞人権宣教協議会からの代表も加え四十人が参加した。在日大韓基督教会からは姜栄一総幹事をはじめ、鄭相熙牧師(関東地方会、韓聖牧師(関東外キ連)、李根秀牧師(神奈川外キ連)、李清一牧師(関西外キ連)、金成元氏(関西外キ連)、朱文洪牧師(九州・山口外キ連)が参加。

一日目は地元・神奈川の先進的な取り組みを、山田貴夫氏(川崎市職員)と竹川真理子氏(信愛塾)から聞くことができた。二日目は金性済牧師(川崎)から「神のゲール・アブラハム」とイサク/共生社会構築に生きる神の「エージェント」と題して、感銘深い聖書研究がなされた。そのあと、①「外国人住民基本法」制定運動、②日本・在日・韓国教会の共同の取り組みについて発題を受けて、今年度および長期的な活動方針について協議を重ねた。そして三日目の最後に、「前に置かれている参加の道」(ヘブライ12:1-3)と題して、麦仁道牧師から「在日最後の説教」をして

去る一月七日、八日、西南地方会恒例の正初査経会及び都府県各折尾教会において地方会の各教会から、約三十名が参加して行われた。査経会の第一日目は、講師として西南KCC総幹事・麦仁道牧師を迎え、「忍耐の十字架をこえて」という主題で在日同胞宣教四十年の自らの歴史を振り返りつつ後進にその使命を託すチャレンジの言葉が与えられた。

第二日目は、講師として宮崎伝道所・鄭永吉牧師を迎え、「成熟したキリスト者」という主題でユーモアたっぷりに信仰成長の秘訣について語っていただいた。その後の都府県各折尾教会においては、西南地方会の今年度の諸計画と、各教会の現況報告と新年度の展望を語り合った。

また、折尾教会からの豊かな食事を通じて楽しい交わりのひとときも与えられ、霊肉共に満たされた査経会であった。

また、折尾教会からの豊かな食事を通じて楽しい交わりのひとときも与えられ、霊肉共に満たされた査経会であった。

在日大韓基督教会 東京総会神学校 2001年度 学生募集案内

本校は、一般教育を終えた者が、専門語学、聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学、牧会神学の六領域の学びを統合的に修めながら、現代の、特に在日同胞社会の多様な必要に十分対応できる伝道者の養成を目指す神学校です。

- 募集人員: ①正規生若干名 ②聴講生若干名
- 出願資格: ①受洗後、1年以上であること。
②在日大韓基督教会の正会員であること。
③伝道者への召命感があること。
④大学卒業、もしくは同等の資格を有すると認められること。
- 出願期間: 2001年2月1日(木)~28日(水)
- 提出書類: ①入学願書(本校所定の用紙) ②志望理由書(400字5枚) ③履歴書 ④推薦状(所属教会の牧師または代表) ⑤最終学校の卒業証明書 ⑥最終学校の成績証明書 ⑦写真2枚

- 試験: ①試験日時: 2001年3月19日(月)午前10時
②場所: 東京総会神学校 ③試験科目: 聖書、英語、面接
- 学費その他: ①入学金5,000円 ②授業料10,000円/月 ③奨学金制度あり ④寮あり
- 募集学科:
①本科: 出願資格参照。但し、在日大韓基督教会の正会員として他の神学校を卒業し、在日大韓基督教会の伝道師試験の受験を志願する者は、校長の推薦を得て本校にて一年以上の修学のために入学しなければならない。加入宣教師の場合も同様である。
②聴講生コース: 信徒指導者の養成課程である。5科目まで履修可。履修科目は本科にて認められる。提出書類は①②③④⑦と面接試験。
- 受講時間: 火曜日から土曜日8:50~14:20
※以上、募集要項の請求及びその他詳細については、本校の教務課宛にお問い合わせください。〒162-0827 東京都新宿区若宮町24 TEL 03-3260-8891

金鐘賢牧師（浪速伝道所）

前10時

訂正

十一月号の4面
「長老
のあり、お詫
いたします。

許唱業
金鉄斗

変更

市水枝邑上岨
1 現代APT
106号 ☎0
4・86687

お知らせ

全般

株式会社 ニュー

休刊いたしま
美術：
知事②

TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949
代表取締役 **金 根 熙**

光 鍾 名古屋教会 長老) 日区川並町2番21号 日売市場入口南側大栄ビル) 2(682)1177(代) 区御影町2-55-5	取締役社長 李 鍾 善 (名古屋教会 長老) ニューキング 四日市市野田1丁目965-1 TEL (0593) 31-4771(代) 三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1 TEL (0564) 31-8893(代)
--	---

西部女性会が修養会開催

「新千年に要求される女性指導力」テーマに約80名が参加



西部地方会女性連合会主催による、第十三回修養会。韓国大田にある忠南第2監理教会の担任牧師である趙成根牧師を招いて、約八十名が参加して開催された。

成根牧師を招いて、約八十名が参加して開催された。開会礼拝は、金幸子副会長の司会により始まり、李忠善牧師(西部地方会前女性部長より、「ルツのこころ」(ルツ1:16、17)という題目でメッセージがあり、同じく李牧師の祝福があった。

今回の講師趙成根牧師が私たち女性連合会のために用意して下さった主題講演の大きなテーマは「新千年に要求される女性指導力」というものであり、そのテーマに基づいて「新時代と信仰指導力」「イエスの指導力」という二つの講演があった。

新しい世紀を目前に一刻一刻と刻まれていく時代の流れと共に教会もその変化を敏感にキャッチし変わっていくかばならず、またその状況の中でこれから教会女性たちはどのような指導力を持たねばならないのか

リコ グローバリゼーションの 흐름 속에서、日本教会에서 총회神学校の 한 학생으로서 나는 어떻게 변화에 발 맞추어 나가야 할 것인가를 생각해 본다. 教授님, 왜 제게 이러한 어려운宿題를 주셨습니까?

저 김은혜 호르는 地下水和 하늘과 공기는 国境도 없고 어느 누구도 独占할 수 없다고 누군가 말했다. 福音의 生命水는 구하는 자에게는 누구나 받아 누릴 수 있다.

在日一世의先輩들이 殉教의 精神으로 지킨 信仰을 본받아 아직 뚜렷한 미래가 눈에 보이지 않지만, 마음의 눈으로 앞을 바라 보며 우리 주님이 끝까지 함께 하심을 믿고 胆大하게 나아가야겠다.

우리 同胞가 日本 땅에서 信仰을 지키기 위해 열 마나 많은 苦難을 당했는데 前에는 몰랐다. 在日 同胞社會史와 總會宣敎理 念時間에 우리 民族이 本 땅에서 받은 受侮와 抑 壓, 敎會의 彈壓에 대해 배 울 때 눈물을 흘리지 않을 수 없었다.

戦後 在日大韓基督教會 部分인 것을 알았을 때는 主 神을 알았는가? 그 게 나 아 가 야 겠 다.



中部地方青年連合会冬期青年研修会
主 題: 唯一の神に奉仕する信仰
2001年2月2日(木) 22時~29日

中部青年会が冬期研修会開く

朴太元牧師講師に奉仕する信仰を学ぶ

二〇〇〇年十二月二十八、二十九日に中部地方青年連合会主催冬期青年研修会が在日大韓基督教會名古屋教會にて行われた。講師は朴太元牧師で参加者は十七名であった。

開会礼拝は金信志(會長)の司会、中部地方青年部長、趙尚浩牧師の説教で行われた。その後、自己紹介をして、中部連が準備したトレーナーに着替えて、夕食の準備をした。夕食はみんなですき焼きを作って食べた。

夕食後、金信志會長が二〇〇一年度中部地方青年連合会の主題「唯一の神に奉仕する信仰」を読み、主 題講演が行われた。主 題講演は二八日と二九日の二回にわけて行われた。

一日目は「唯一の神」について、アメリカでの留学から冬休みを利用して一時帰られた朴太元牧師が、自身の幼少時代からの経験などを話された。

その後、全協からアビー・ルする時間が持たれた。全協からは韓守賢、延商準青年が参加した。この数年、中部連ではあまり馴染みのない全協という機関に、最初は戸惑いも見られたが、朴太元牧師や許伯基伝道師、李敦子姉妹などが活動に参加した経験もあって、みんな興味を持って全協からの訴えかけに臨み、交流を持ちながら話をしたり、ゲームをして楽しんだ。

二日目は、姜明美(出版)による祈禱会で始まり、彼女が好きな聖書の箇所をもつて証をした。

二日目の主題講演は「奉仕する信仰」について話された。朴太元牧師は名古屋教會時代にされた奉仕から、ある執事の隠れた奉仕について事細かに話された。その後、質疑応答の時間があつた。

昼食は、みんなでカレーを作って食べた。

閉会礼拝は安東植(副會長)の司会、許伯基伝道師の説教があつた。

今回の研修会には人数は少なかつたけれど、内容の濃い研修会であつた。この研修会で、「待つ喜び」について、「待つてくれている人がいる」大きな力となる」ということを学んだ。

参加した青年はこの研修会で、今青年がどのような奉仕ができ、何をしていくべきなのかを考える良い機会になったと思う。

(報告 柳好美)

総幹事活動日誌

- 12月
- 会議
- 教団・関東教区新潟地区日時: 12月1日
- 場所: 新潟
- 内容: 新潟教会全般に関して
- 韓日NCC協議会日時: 12月4、7日
- 場所: ソウル・百周年記念館
- 教団との宣敎協力委員会日時: 12月11日
- 場所: 京都教會
- 平和統一會議日時: 12月12、14日
- 場所: 福岡教會
- 参加者: 140名
- キリスト・ジャーナリスト懇談会日時: 12月19日
- 場所: NCC會議室
- 記念集會
- 黃義生牧師敎會30周年記念日時: 12月10日
- 場所: 名古屋教會
- 説教
- 東京中央教會日時: 3・24日
- 船橋教會日時: 12月31日
- 1月
- 會議
- 外ヶ協全國協議會日時: 1月11、13日
- 場所: 横浜カトリックセンター
- 海外韓人敎會協議會任員會日時: 1月25、29日
- 場所: アトラント
- 委任式
- 金東洙牧師日時: 1月14日
- 場所: 東京日暮里教會
- 説教
- 東京中央教會日時: 7・14・21日

總會神學生・宣敎師研修會案

- 期 間: 2001年3月5日(月)~8日(木)
- 主 題: 「在日同胞の生き方に参与するKCCJ敎會」
- 主題講師: 李清一牧師(大阪KCC館長)
- 対 象: 總會神學生・2001年度に加入される宣敎師
- 主 催: 東京總會神學校
- 後 援: 関西地方會

関西地方會復活節音樂礼拝案

- 日時: 2001年4月15日(主日) 午後5時
- 場所: 京都南部教會
- 主催: 関西地方會伝道部
- 《関西地方聖歌隊連合會》
- 練習予定: 2月18日、3月4日、3月21日、4月1日(場所: 大阪教會、午後5時~7時)

関東地方會 2001年復活節聖歌大會

- 関東地方會では2001年復活節を迎え、次のように聖歌大會を開催いたします。
- 記—
- 日時: 2001年4月15日(復活主日) 午後4時
 - 場所: 在日大韓基督教東京教會
 - 参加: 関東地方會各敎會
 - 参加種目: 各敎會 合唱1曲
 - ・讃頌歌、聖歌、福音讃頌 中 에 自由曲 1曲
 - ・参加人数、参加者構成(男女老少)が審査に大きく反映されます。